

## 【自己紹介】



相模原市の皆様、初めまして！私は JICA 青年海外協力隊（以下「協力隊」）としてエチオピアへ派遣されております梶原亮一と申します。任期は 2 年間で、職種は農業協同組合（以下、「農協」）です。同職種は協力隊の中でも非常に珍しく、「どのような活動をすべきか？」については日々模索しています。それでも私がこれまでに身に付けてきた知識（微々たるものですが）や地元の農協で働かせていただいた経験を頼りに何とかエチオピアの経済発展に貢献できるよう奮闘しております。

## 【任国紹介】

私の任国であるエチオピアは日本の約 3 倍の面積で、人口は約 8,500 万人です。民族は多様でオロモ族、アムハラ族、ティグライ族など約 80 も存在します。宗教は大きくキリスト教とイスラム教に分けられます。主要産業は農業で、GDP の約 40%、輸出の約 90%、雇用の約 85%を占めています。高い経済成長率を記録している一方で、街には物乞いが数多くいるというのが現状です。



首都マラソン

## 【任地紹介】

私の任地であるアディスアベバはエチオピアの首都です。アフリカ連合や国連アフリカ経済委員会の本部があり、世界各国からの外交官の数もアフリカ最大なのでアフリカ外交の中心地と言えます。現在は建設ラッシュ真っ只中で、街中で高層ビルや幹線道路、路面電車、上下水道の大規模な工事が行われています。そのため停電や断水がしばしば起こりますが、それでも問題なく生活ができます。

## 【配属先紹介】

私の配属先はオロミア組合推進局という州行政機関です。オロミア州はエチオピアでも人口・面積・経済規模において最大で、約 11,300 の小規模組合、約 110 の組合連合、約 170 万の組合員を抱えています。それらの組合（農協・貯蓄信用組合・消費者組合・非農業組合）へ指導・監査しているのがオロミア組合推進局です。地方にもオフィスがありますが、私が所属するのは首都アディスアベバ本部で、職員数は約 100 名です。現在、私の赴任直後に新しくなったトップマネジメントが配属先、そして組合セクター全体を変革すべく指揮を執っています。



オロミア州政府ビル群（配属先）

### 【活動計画】

私の主要な活動は地方の組合連合（農協）に対するフィールドワークです。それは3つの工程、①調査・分析、②成長戦略の議論・立案、③フィードバック、から成ります。これを1サイクルとして合計で州内の6つの組合連合（農協）に実施していく予定です（既に1つは終了）。州内に約110ある組合連合のたった6つではありますが、この中から州内の組合連合（農協）に共通の課題や可能性を見つけ出し、その戦略的方向性を考察します。私の行うフィールドワークへ配属先同僚や組合連合マネージャーを巻き込む事で、私の帰国後にも彼ら自身で考え行動できるようにするのが大きな目的です。とは言え、エチオピアの農協に関しては全くの素人である私と与えられる事よりも、エチオピアの方々から教えてもらう事の方が多いたが現状です。残された活動期間の1年半で、この比重を逆転させられるように日々の活動に打ち込みます！



仕事風景



同僚と